

第7回庄原市行政経営改革審議会 会議録（摘録）

1. 開催日時 令和8年6月30日（火）
 開 会：15時30分
 閉 会：17時30分
2. 開催場所 庄原市役所 3階防災対策室
3. 出席委員 澤 俊晴 委員（会長） ・村上恵子 委員（副会長）
 兼森博夫 委員 ・長岡雅子 委員
 普家浩文 委員（リモート参加） ・酒井賢児 委員（リモート参加）
4. 欠席委員 大塚洋美 委員
5. 傍聴者 8名
6. 会議次第 別紙のとおり
7. 会議経過 別紙のとおり

第7回庄原市行政経営改革審議会次第

令和8年6月30日（火）

庄原市役所 3階防災対策室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 市職員の紹介

4 議事

(1)第6回審議会資料の修正点の説明

(2)総括

(3)その他

5 連絡事項

6 閉 会

会 議 経 過

1 開 会

2 会長あいさつ

今回の審議会は第7回ということで最後の審議会となります。委員の皆様、様々なご意見等頂き、ありがとうございました。

今回審議会をもって最終的な大綱素案を取りまとめ、7月7日にこれを市長へ提出する予定です。今日が最後となりますので、皆様有意義な議論を行っていただければと思います。

3 審議会初参加者、市職員の紹介

4 議事

(1)第6回審議会資料の修正点の説明

― 事務局より第6回審議会資料の修正点を説明 ―

委員 大綱の目次を用意してはどうか。

事務局 用意する。

委員 地籍調査の結果を固定資産税に反映する取り組みが必要ではないか。

事務局 先般の議員全員協議会において、令和9年度から固定資産税に反映する旨報告した。

委員 大綱へも着実な実施に向け、記載した方がよいのではないか。

事務局 記載する方向で調整する。

委員 大綱 71 ページに示唆されている職員数を減らさずに事務経費を下げる取り組みとは給与を下げることを意味するのか。

事務局 事務経費の削減は職員の給与を下げるのではなく、DX などを用いることで業務手法を見直し、それに応じた適正な総職員数を検討するという意味合いである。わかりやすい表現に修正する。

- 委員 大綱 56 ページにある「行政評価委員評価の予算編成への反映率」を 90%としているが、どのような状況を意味するのか。
- 事務局 仮に評価事業が 10 件ある場合、そのうち 9 件は予算編成へ反映することを目標とする。ただし、評価後に市の状況が変わっている場合もあるため、必ずしも目標の反映率に至らないこともある。現在は「現行通り」と評価されているものは予算に反映されているが、「拡充・縮小」の評価に対する反映率は 50%となっており、非常に低い状況となっている。
- 委員 大綱 69 ページ③にある目標像について、財政運営プランで計画された内容を達成することを目標像とするべきではないか。
- 事務局 ご指摘のとおり目標像の表現を修正する。
- 委員 第 6 回審議会資料の 63 ページに「中国地方における類似市の本庁集約率」が記載されることになっていたはずだが、この件については対応されるのであろうか。
- 事務局 中国地方における類似市の本庁集約率については資料を集約中であるため、実施計画等で提示できればと考えている。資料が完成次第、本審議会委員の方々へ共有する。
- 委員 大綱 52 ページに「公共施設の最適管理」の記載があるが、個別の計画で策定するという理解で合っているか。
- 事務局 各施設にとって適切なタイミングで計画を立てる予定。
- 委員 参考事項を別冊とすることがありうるか。
- 事務局 資料編として、別冊にまとめる可能性がある。
- 委員 繰出金がいくらかということと、基準内または基準外の部分もいれこんでいたきたい。
- 事務局 検討する。
- 委員 大綱 24 ページの現状及び課題の部分に現状がかかれていない。
また、大綱 72 ページの経費別歳出の見直しに関して、用途に応じてどの程度支出しているのかを示した方がよいのではないか。
- 事務局 記載するよう検討する。

(2)総括

― 事務局より総括を説明 ―

委員 多様な主体との連携で終えているが、連携してどうするかの部分を入れ込むべきではないか。

事務局 検討する。

委員 市民がみて、わかりやすい表現が必要。

事務局 概要版や用語集の作成を検討する。

委員 生成 AI などの活用は新しい取り組みを検討するよりは業務を効率化する取り組みが効果的と考えられる。これは先述の表現・文言の統一や、用語集の作成にも活用できる。業務プロセスを見直し、生成 AI などを使えるように考えることで、余剰人員が生じ、その部分でよりクリエイティブな業務にあたってもらいたい。

委員 今後実行が大事になる。実施計画策定にあたり、どのようなアプローチを想定しているのか。

事務局 実施計画を策定する中で、個別の取り組みに対して個別の KPI を設定する予定。これらの KPI は、大綱に記載している通り、客観的なデータ、専門家の提言、生成 AI による KPI 設定提案を参考に設定する。

(3)その他

― 庄原市行政経営改革の答申（案）の内容検討 ―

委員長 事務局によって表現や文言が整理された後、7 月 7 日に答申書を市長へ提出する。今後の細かい調整を事務局と進めていくことについては、委員長に一任させていただきたい。

5 連絡事項

6 閉 会